千葉市

お家で栽培体験　ＮＯ.4

ナス

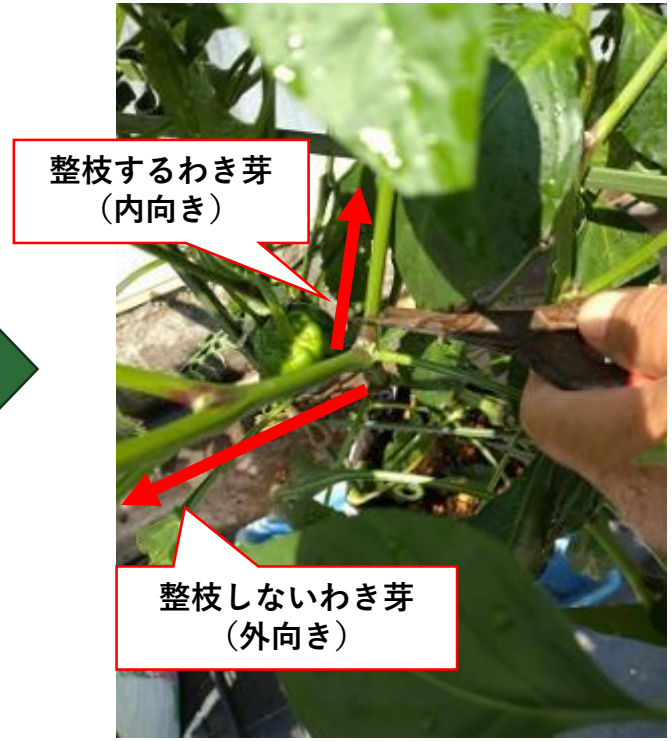
ピーマン

甘長とうがらし

	収穫（しゅうかく）のタイミング	収穫方法	注意点
ナス	花が咲いてから20日くらい。 10～20ｃｍくらいになったら収穫しましょう。	ヘタの上部をハサミでカットして収穫します。	収穫が遅れると、株の負担になり他のナスの生育にも影響（えいきょう）します。また皮が固くなるなど他の果実にも影響しますので早めに収穫しましょう。
ピーマン	花が咲いてから15日くらい。 6～8ｃｍくらいになったら収穫しましょう。	枝が折れやすいので注意しながらヘタの上部をハサミでカットして収穫します。	花が咲いてから60日くらい経つと緑色から赤く熟し、苦みの少ない状態で収穫することができますが、株の負担になり他の果実の生育にも影響しますので緑色のうちに収穫しましょう。
甘長 とうがらし	花が咲いてから20～30日くらい。 10～15ｃｍくらいになったら収穫しましょう。		

千葉市　整枝（せいし）

わき芽をとる前



わき芽をとる

わき芽をとった後

整枝

- わき芽を定期的にとらないと全体的に混みあってしまい、日光が株全体に入らなくなってしまうため、整枝を行います。
- 整枝をする際は、内側に向いているわき芽をとります。そうすることで、こんでいる場所が解消され、株の内側を含めた全体の日当たりをよくなり、花がつくのを促（そく）すことができます。
- 垂れ下がってしまう枝がある場合は、園芸用のひも等を使って支柱に誘引（ゆういん）しましょう。

千葉市 病害虫などの被害

ハダニがついた葉

正常な葉

チャノホコリダニがついたヘタ

正常な実

タバコガの被害にあった実

	症状	対策
ハダニ	葉の表面が色が抜けたような斑点（はんてん）ができます。	ホースの先をシャワーにして、葉の表面だけなく裏面まで水をかけます。特に裏面に関しては、水圧をあげて葉についているダニを吹き飛ばしましょう。 症状のひどい葉や実に関しては、とり除きましょう。 ナスに寄生するダニは高温で乾燥(かんそう)した環境を好む傾向があるため、気温上昇とともに被害が出ることが多くなりますので、水やりの際、葉の裏までしっかりチェックして、被害が大きくなる前に対策をしましょう。
チャノホコリダニ	ヘタ（ガク）全体が傷だらけになって変色します。 通常は紫色。 ＊チャノホコリダニ以外で、ヘタや実の部分に傷ができる被害で「アザミウマ」という害虫の被害があります。	
タバコガ	実に5ミリ程度の穴が開いている時は、タバコガと言う虫の幼虫が入り込んでいる可能性があります。	虫食いされた実は丸ごと取り除き、捨てしましょう。 被害が多い場合は、成虫が飛んできて卵を産みつけないよう防虫ネットをはりましょう。

千葉市　高温障害

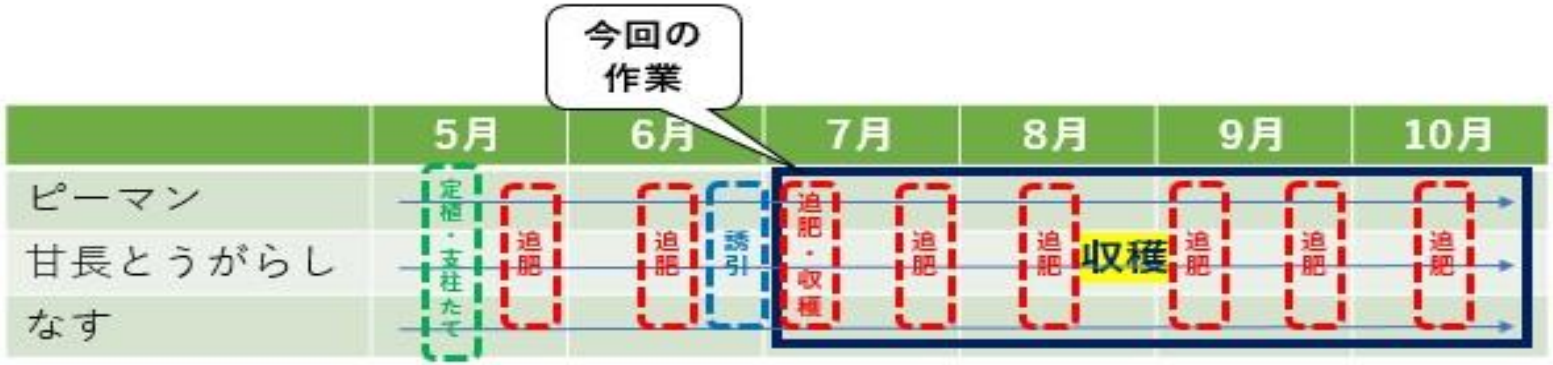
高温障害にあった実
水分が少なく、張りがない状態

高温障害

ナスの活動限界は、気温が35~40°C以上、ピーマン（甘長とうがらし）は、32~35°Cと言われています。そのため、活動限界温度を超えた状態が長時間続くと樹勢（じゅせい）の低下や受精不良（じゅせいふりょう）【花は咲くが、実がならない】を招くため、日中は28°C以上にならないようにする必要があります。

対策

1. 株の上に日よけを設置するなど、直射日光が当たらないようにしましょう。
2. 袋（培土）に段ボールなどで囲（かこ）いをつくり直射日光が当たらないようしましょう。
3. 袋（培土）は、コンクリートなどの上に置いてしまうと、熱が直接に袋（培土）伝わり高温になってしまうため、スノコやカゴなどを下に敷（し）いて風通しをよくしましょう。



・水やりは、土の表面が乾いたら5ℓ程度（真夏は毎日、朝・夕方の2回が理想）
・追肥は、2週間に１回、各30g程度（5月末～10月前半まで）
・収穫は、7月上旬～10月まで